



植柳小学校・保健だより
3月号
<NO.19>
(発行) 植柳小・保健室

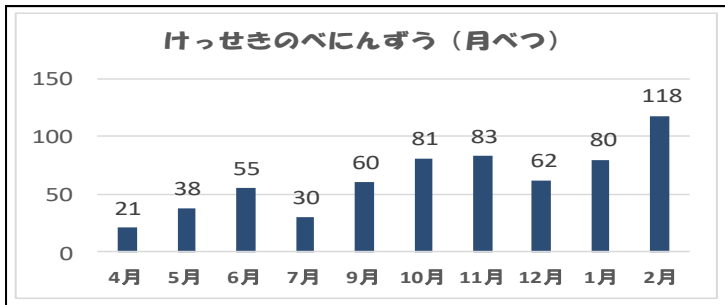
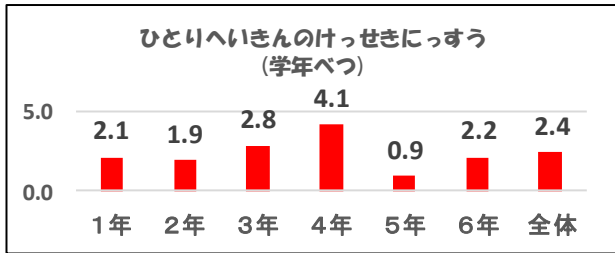
今月のもくひょう

ねんかん けんこうせいかわ
1年間の健康生活をふりかえろう!



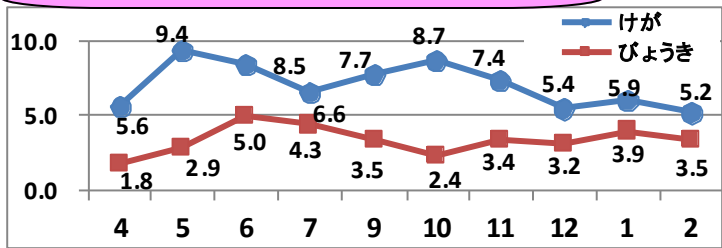
平成29年度もあとわずかとなりました。それぞれが新たな学年へ向けての準備の時期ですね。ここで、この1年をふりかえり、植柳小のみんなの健康のようすをみてみましょう。

けっせきのようすをみてみよう



上のグラフをみると、欠席が多かった月がわかります。今年度は、2月にインフルエンザの大きな流行があったこともあり、トップとなっています。1学期は好調でしたが冬へ向かって体調をくずした人が多くなっていきました。また、学年別にみると、5年生が一番欠席が少なかったようです。グラフをみると学年の差が大きくなっています。ちなみに、今年度2月末まで家の都合での休みも入れて欠席0の人は79人いました。

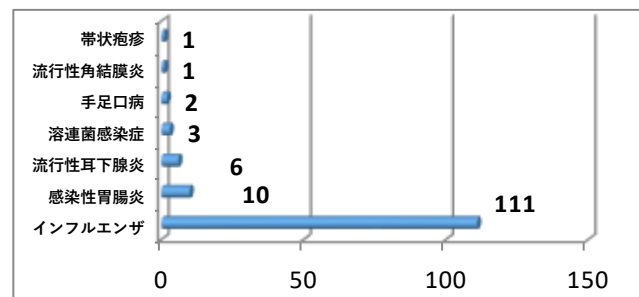
ほけんしつりようのようすをみてみよう



上のグラフは1日平均の保健室利用者数です。やはりけがで保健室に来る人が病気で来る人より多くいました。けがを見ると、運動会の練習や記録会の練習などの行事があるとき、けがは増えているようです。また、病気では1学期の半ばにつかれがでて、体調が悪いと保健室に来る人が増え、冬はかぜ症状で来室する人が増えました。なお、今年は、学校でけがをして振興センターの手続きをした数は22件でした。

かんせんしやう
感染症のようすをみてみよう

今年度はインフルエンザの大流行がありました。植柳小でも100人以上の人がインフルエンザにかかりました。学級閉鎖もありました。ほかの感染症はいつもより少なかったのですが、このインフルエンザの流行がいちばん大きな話題となりました。学校では、保健委員がお茶うがいの取組をしたり、クラスで手洗いうがいをがんばり、マスクをつけるなどしました。しかし、今年のウイルスは強かったようです。



ことし けんこう きょうしつ ひら
今年も健康教室を開きました!

まいとし がくねん けんこうきょうしつ ひら
毎年、学年ごとにゲストティーチャーにきていただき、健康教室を開いています。

1ねん

歯科校医の高田先生とスタッフの方々に来ていただきました。歯のじょうずなみがきかたのコツや歯の健康についての知識を学びました。みんな鏡を見ながら、自分の歯に合ったみがき方を考えていました。



2ねん



3ねん

4ねん



今年度もヤクルト高田センターからスタッフの方に来ていただき「ウン知育教室」を開きました。りっぱなうんこを作るには、どんな食生活や生活習慣が必要なのかを話していただきました。3年生は体育の保健で生活習慣と健康のつながりについて学びますが、関連して学習しました。

菊池から高濱先生に来ていただき、「いのちについて考える」という内容で話をさせていただきました。がんとのたたかいや家族の死で考えたことなど、みんな真剣に話を聞いていました。自分のいのちや家族についていろいろ考える機会となったという感想が多くありました。

5ねん



高野先生は、永く防煙教室を開いてくださいました。肺がんなどの病気のリスクを高めるたばこには害があり、しかもニコチン依存症により、なかなかやめることができないものです。確かな知識を持つことで、たばこに頼らない、必要としない将来にすることを目的とした学習となっています。

6ねん



植柳薬局の竹内先生に「薬と健康のつながり」について話をさせていただきました。薬の使い方を間違えると体にとって毒となり、中毒を起こすことがあるということ、違法薬物は年々形を変えて身近なところへ存在しているということなど自分達の問題として学びました。